



N1: 変化するもの

基 本

例 文

- ① 木村さんは、5センチ背が高くなりました。
- ② 去年植えた桜の木が大きくなりました。
- ③ 冬は、朝6時半ごろ明るくなります。
- ④ 中山さんはいつか有名になると思います。
- ⑤ 掃除をして、部屋がきれいになりました。
- ⑥ 田中さんは、来年の4月に3年生になります。
- ⑦ わたしは医者になりたいです。

解 説

- A. 「Aく / ANに / Nに」は、N1の変化した結果の状態を表す。(例文① ~ ⑦)
- B. 状態の変化を表すときに使う。(例文① ~ ⑦)

先生へ

「Aく / ANに / Nになります」では、変化が起こった結果が重視され、変化をもたらす行為が重視される。「Aく / ANに / Nにします」と区別される。

「なりました」は、変化が起こった結果、話している時点でもその状態が続いていることを暗示することがある。

例 うちの近くにコンビニができて、便利になりました。

【関連項目】

- 文-18 Aく / ANにVます
- 文-59 Aく / ANに / Nにします
- 文-73 Vこと / Nになります
- 文-79 Vようになります

【「れんしゅう編」の練習】

- 11-5 昔のまち・今のまち・将来のまち
- 11-7 わたしの国の一年